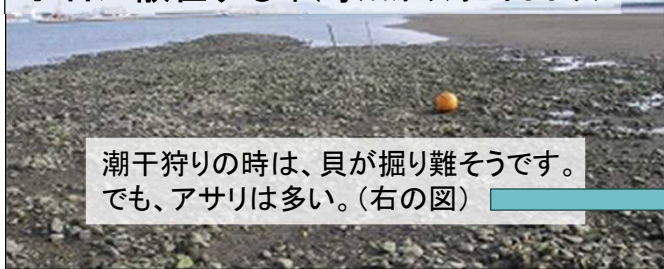


アサリが育つのは石混じりの干潟

【背景・目的・成果】

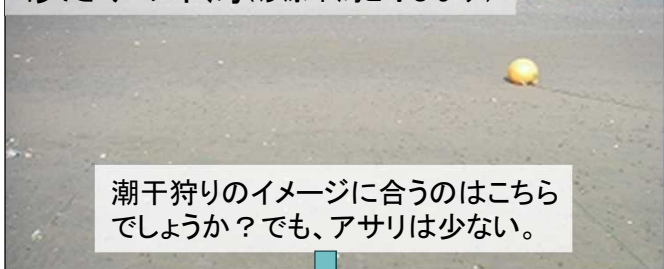
近年、浅場・干潟においてアサリなどの二枚貝は激減し、餌料生物となるゴカイなども少なくなっています。アサリ、ゴカイが生息している場所を調べると、砂を基盤として小石が散在する干潟で多いことが分かりました。アサリを含むベントスが多い干潟の条件を解明し、碎石を用いてアサリを含むベントスを増大させる方法を明らかにしました。

小石が散在する干潟(石原干潟と呼びます)



潮干狩りの時は、貝が掘り難そうです。でも、アサリは多い。(右の図)

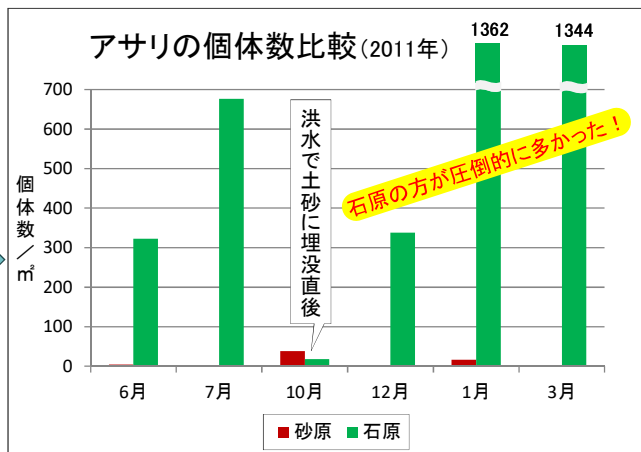
砂だけの干潟(砂原干潟と呼びます)



潮干狩りのイメージに合うのはこちらでしょうか？でも、アサリは少ない。

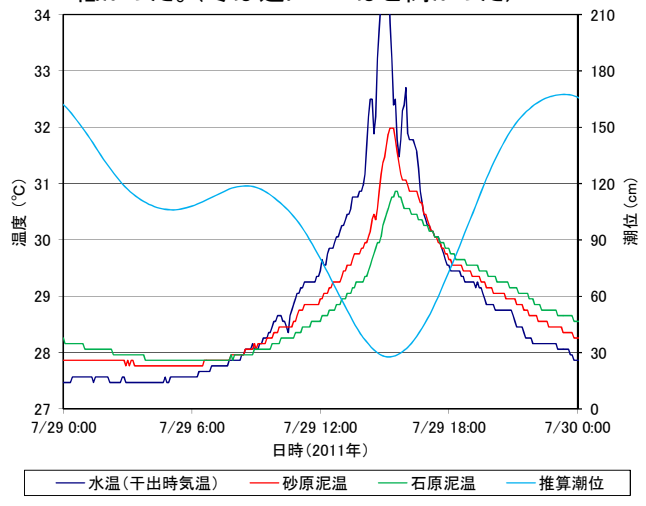


潮が引くと、アサリがエイや魚に食べられた跡が、沢山出現しました。



石原干潟は夏涼しくて、冬暖かい。

干潟の夏の最高温度は石原の方が1℃以上低かった。(冬は逆に2℃ほど高かった)



石原干潟の良い所

- ・エイや魚による食害が少ない。
- ・泥の温度変化が少ない。
- ・地盤が安定している。
- ・石の間に有機物が溜まって泥の表面を覆い、アサリに適した環境を維持していた。
- ・アサリの稚貝が着底しやすい。

【技術の活用】

砂だけの干潟に、粒径50-60mm以上の石を混ぜることによって、アサリをはじめとする底生生物が増え、アサリなどの着底量も多いことが分かりました。今後、生産性の高い干潟を造成する際に、これらの成果を利用していきます。